

大野商工会議所
「DXに関する意識調査」結果報告書

1. 調査目的

大野市内企業のデジタルトランスフォーメーションに対する意識を把握するために実施。

2. 調査期間 令和3年10月

3. 調査対象 大野商工会議所会員事業所より抽出した350事業所

4. 調査機関 大野商工会議所・大野中小企業相談所

5. 調査方法 調査票を郵送、返信用封筒、FAX、アンケートフォームにて回答

6. 回答企業 136事業所（回答率38.8%）

【結果の概要】

- ▶ デジタルトランスフォーメーション（DX）という言葉や関心度合の質問では、言葉自体“よくわからない”と回答した事業所が49.3%、“名前は聞いたことがある”と回答した事業所は44.9%で、DXへの関心度合の質問では、“どちらともいえない”が46.7%と半分近くを占め、あとは“関心がある”が合わせて28.8%、“関心がない”が24.4%と同じような結果となり、ほとんどの事業所がDX自体よくわかっていない結果となった。
- ▶ DXへの取組みについての質問では、“DXへの取組みは必要”と回答した事業所は合わせて38.9%、反対に“必要ない”と回答した事業所は9.9%となっているが、この質問でも“どちらともいえない”が51.1%と半数を占めている。また、DXへの取組み時期についての質問では“予定なし（DX遅れ）”が50.6%と半数を占めておりDXへの取組みが進んでいないことが窺える。
- ▶ DXを進める上での課題については、“そもそもDXがどのようなものかわからない”が20.4%と一番多く回答。次いで“何をどう取組んでよいかわからない”“デジタルに強い人材がない”“導入費用が高い”“DX化しても業務が効率化するか疑問”と続いており、どうしたらいいのかわからないという事業者の課題が窺える。
- ▶ DXに取り組んでいる事業者への質問でも、取り組んでいるが“よくわからない”と回答した事業所が81.8%とほとんどを占めており、取り組んでいるがうまくいっているのかよくわからない実情が窺える。
- ▶ DXに取り組んで改善したいことの質問では、“考えている”“考えていない”“わからない”との回答が凡そ3割ずつとなっている。
- ▶ DXのセミナーでのテーマとしては、“初歩から学ぶDX講座”といったテーマが一番多く、まずはDXとはといった点から進めていき、事例などを紹介していくセミナーが大事ということが窺える。
- ▶ DXを取りいてることでの自社への利点としては、“生産性向上・コスト減”“従業員の働き方改革”“市場や消費行動の変化に柔軟な対応が可能”といった項目が上位となっている。
- ▶ 業種別にDXという言葉や関心度が高いのは、情報通信業やサービス業、不動産業などとなっている。
- ▶ 取組み状況としては、情報通信業、不動産業、小売業、製造業などが取組みを進めている現状が窺える。年齢別でみると39歳以下では“取組みは完了している”と回答しており若い経営者は取り組んでいる状況が窺える。
- ▶ 自由意見でも、「DXが良く判らない」といった回答が多くありセミナー等でもこういった意見を踏まえて進めていく必要がある。

【属性について】

1. 業種

業 種	回答数	構成比
建設業	29	21.3%
製造業	29	21.3%
卸売業	2	1.5%
小売業	27	19.9%
飲食業	10	7.4%
宿泊業	3	2.2%
不動産業	1	0.7%
運輸業	2	1.5%
情報通信業	1	0.7%
その他サービス業	22	16.2%
その他（金融・保険業等・その他）	10	7.4%
計	136	100.0%

2. 従業員数

従業員数	回答数	構成比
0人	8	5.9%
1～5人	54	39.7%
6～10人	18	13.2%
11～20人	28	20.6%
21～50人	12	8.8%
51～100人	3	2.2%
101～300人	9	6.6%
301人以上	4	2.9%
計	136	100.0%

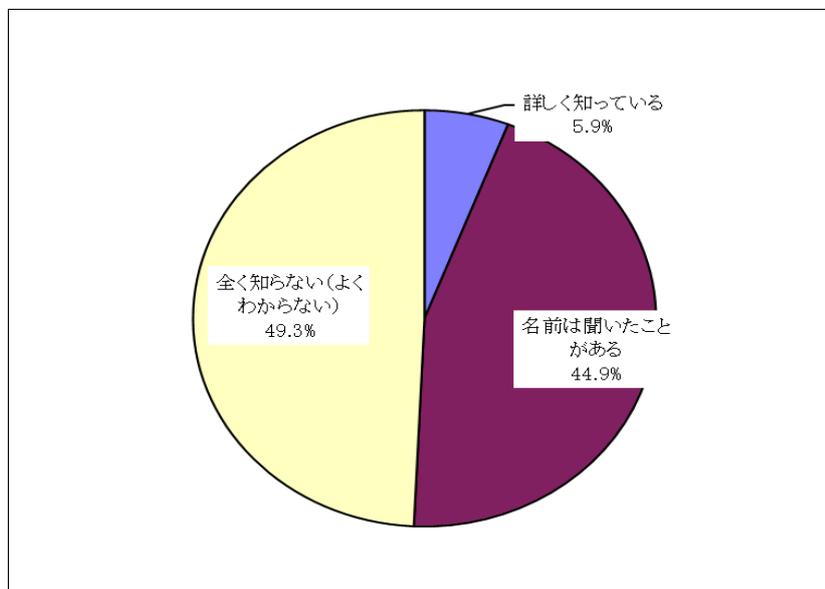
3. 経営者の年齢

年齢	回答数	構成比
49歳以下	33	24.3%
50歳代	35	25.7%
60歳代	43	31.6%
70歳以上	25	18.4%
合計	136	100.0%

【デジタルトランスフォーメーションへの取組みについて】

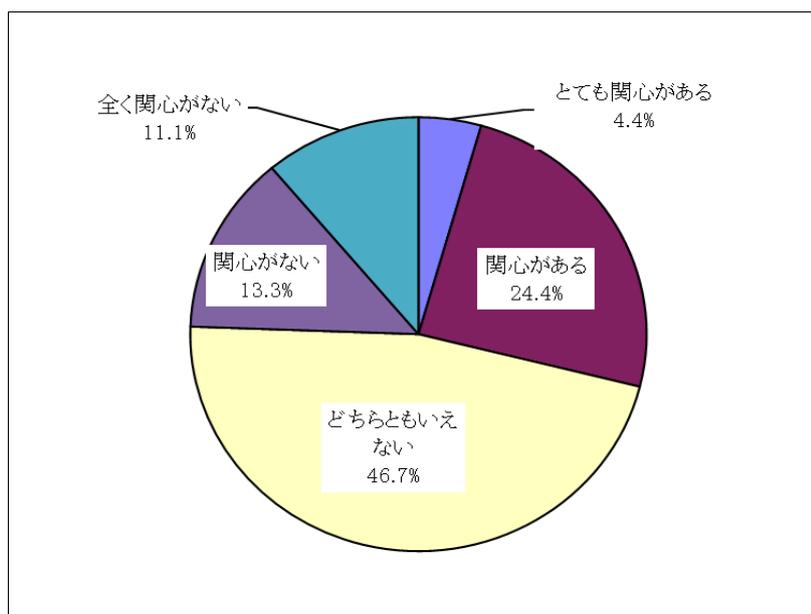
4. デジタルトランスフォーメーション（DX）という言葉を知っていますか

全体の約半分が「全く知らない（よくわからない）」と回答。「名前は聞いたことがある」と回答した事業所が44.9%と言葉自体をよく判らない事業所が殆どを占めています。



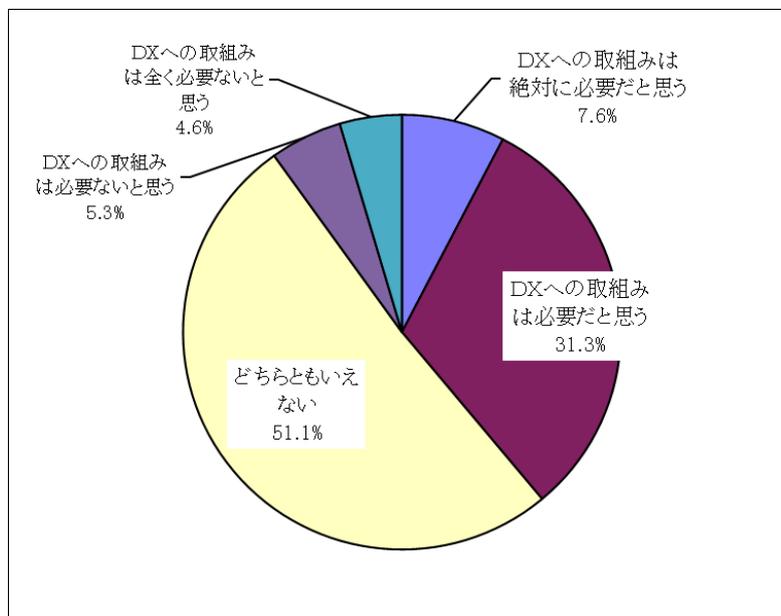
5. DXについてどの程度関心をお持ちですか

「とても関心がある」「関心がある」と回答した事業所は合わせて28.8%と約3割程度の事業者はDXに関心を持っていますが、「どちらともいえない」と回答した事業所が46.7%あり、DXがどのようなものかよく判っていないことが窺えます。



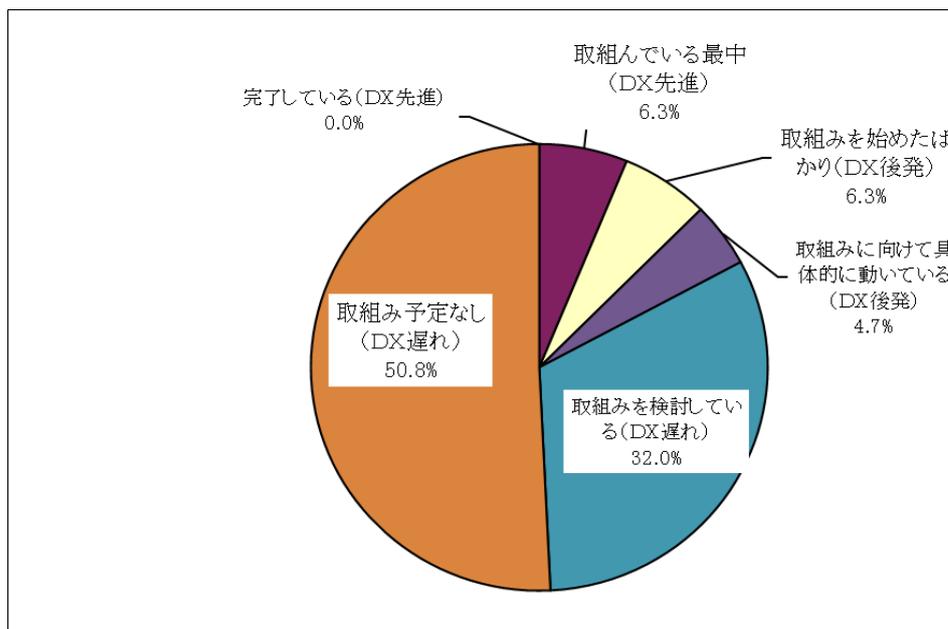
6. DXへの取組みについて現在の気持ちをお答えください

「取組みは絶対に必要だ」「取組みは必要だ」と回答した事業所が合わせて 38.9%と、DX事態はよく判らないが“取組みは必要”と考えている事業所は約 4 割あり必要性は感じていることが窺えます。



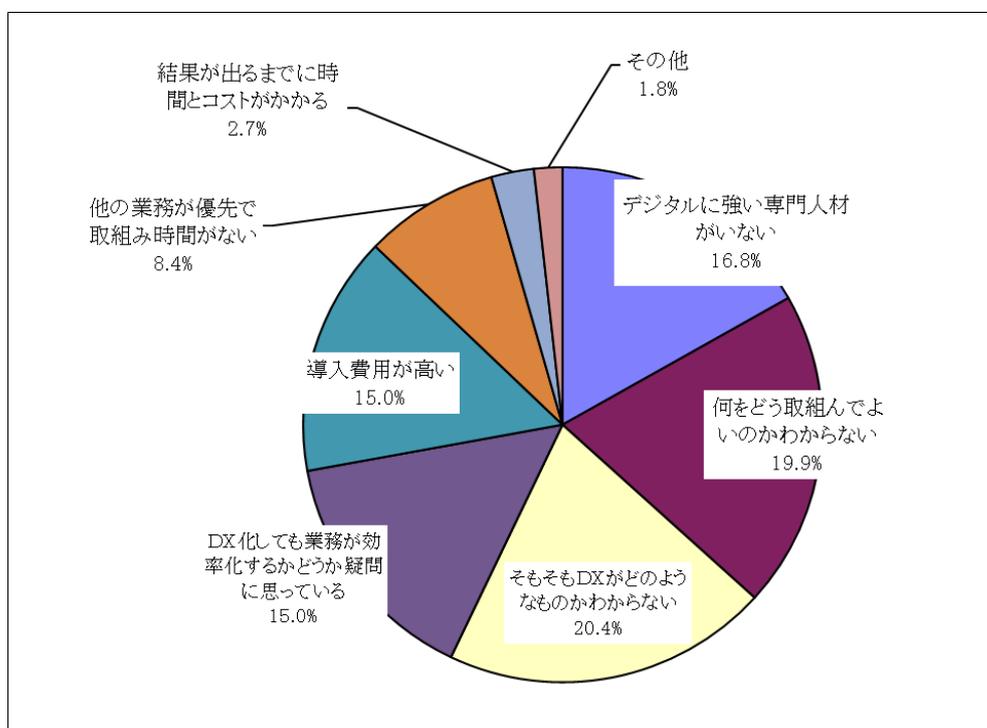
7. DXについて貴社の取組状況を（時期）を教えてください

前の設問では 4 割が必要と感じてはいるが、実際取組んでいる状況としては「取組み予定なし」が 50.8%と半分を占めています。反面、「取組みを検討している」など取組もうとしている事業所も 49.2%あり、前向きに考えている事業所と全く考えていない事業所とが凡そ半分づつとなっています。



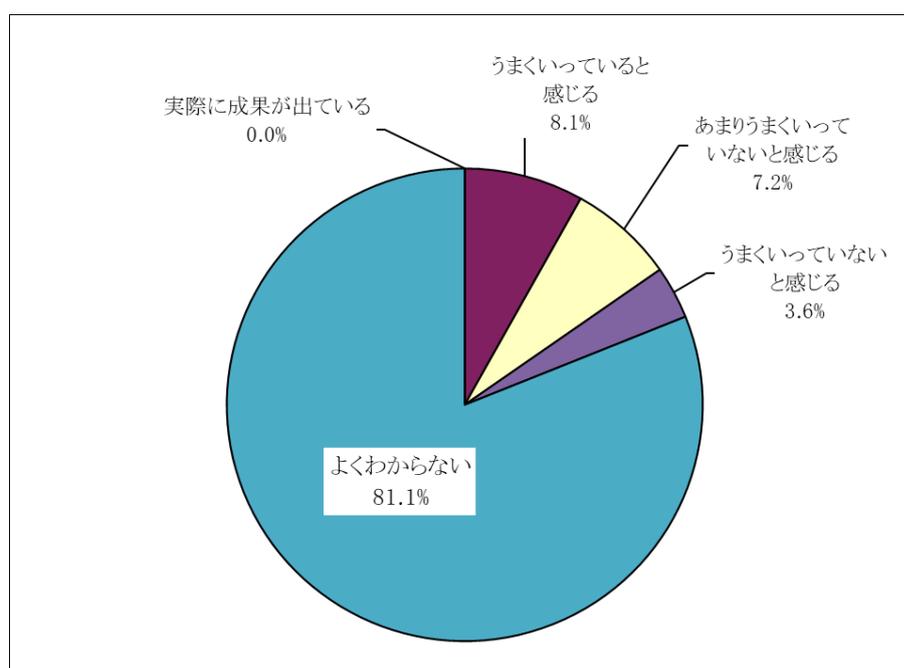
8. 貴社がDXを進める上での課題を教えてください。

課題としては、「専門人材の不足」、「取組み方がわからない」、「効果があるのか疑問」などの回答が多くあり、どの事業所もどのように取組んでいいかを模索している現状が窺えます。



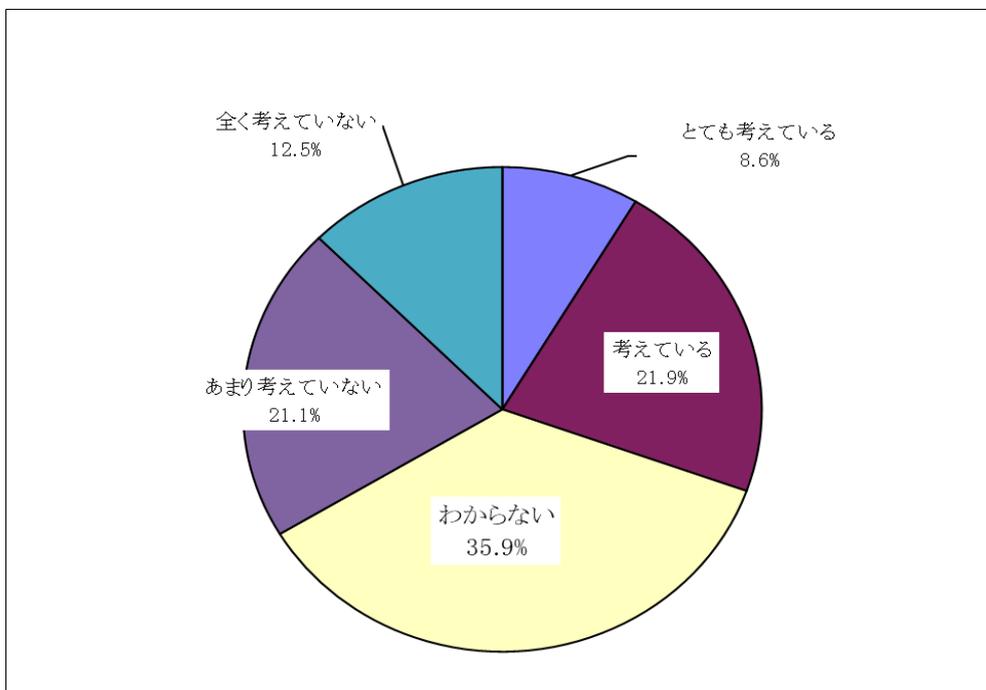
9. DXの取組みについてどのような実感をお持ちですか。

実際に取組んでも実感として、「よくわからない」と回答した事業所が8割を超えておりDXに取組む中効果が掴めていない事業所が殆どとなっています。



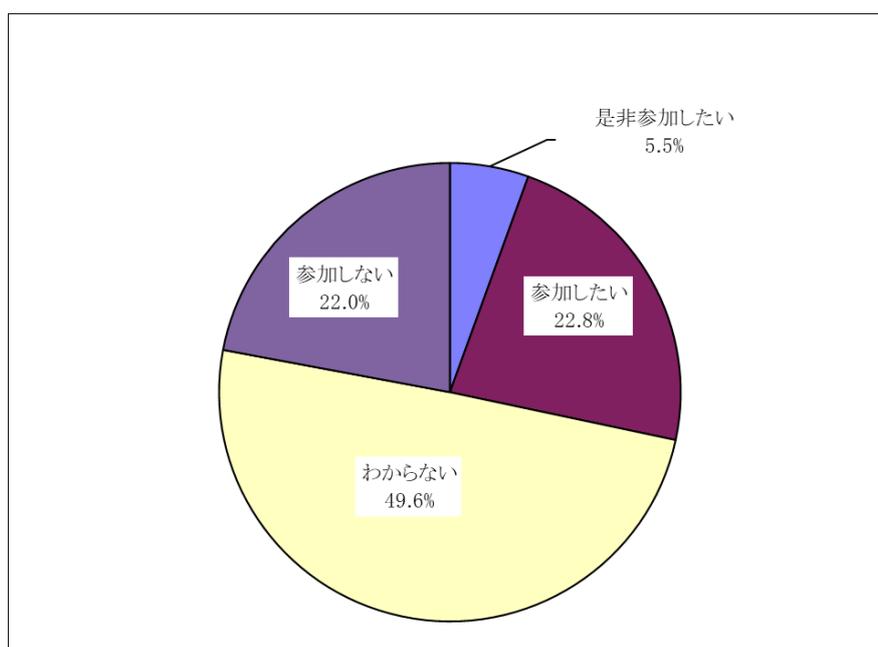
10. DX化で経営改善を行いたいと考えていますか

「考えている」と回答した事業所は合わせて 30.5%、「考えていない」と回答事業所が 33.6%、「わからない」と回答した事業所が 35.9%と凡そ 3 割ずつの割合となっています。



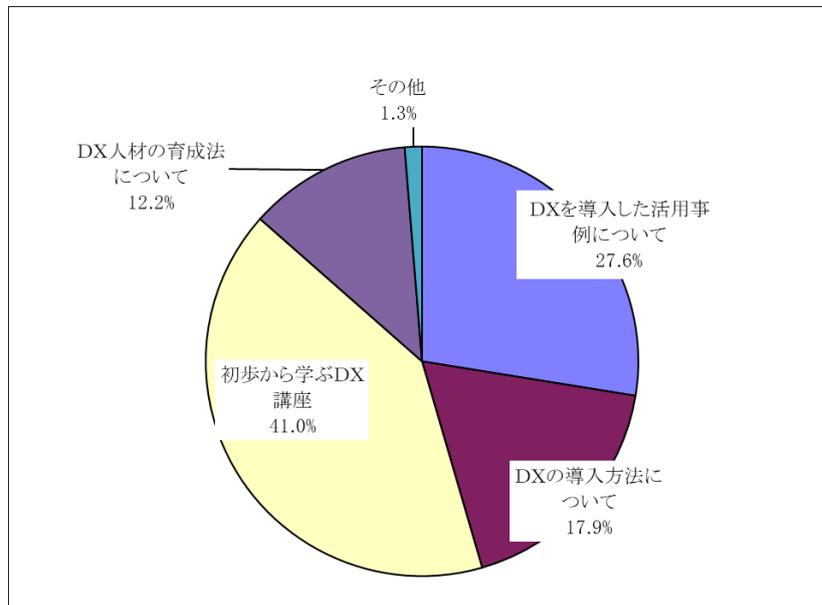
11. DXに関するセミナー（オンライン等）があれば参加したいと思いますか

関心があることを示す、「参加したい」と回答した事業所は合わせて 28.3%あり、セミナーに対する関心の高さが窺えます。



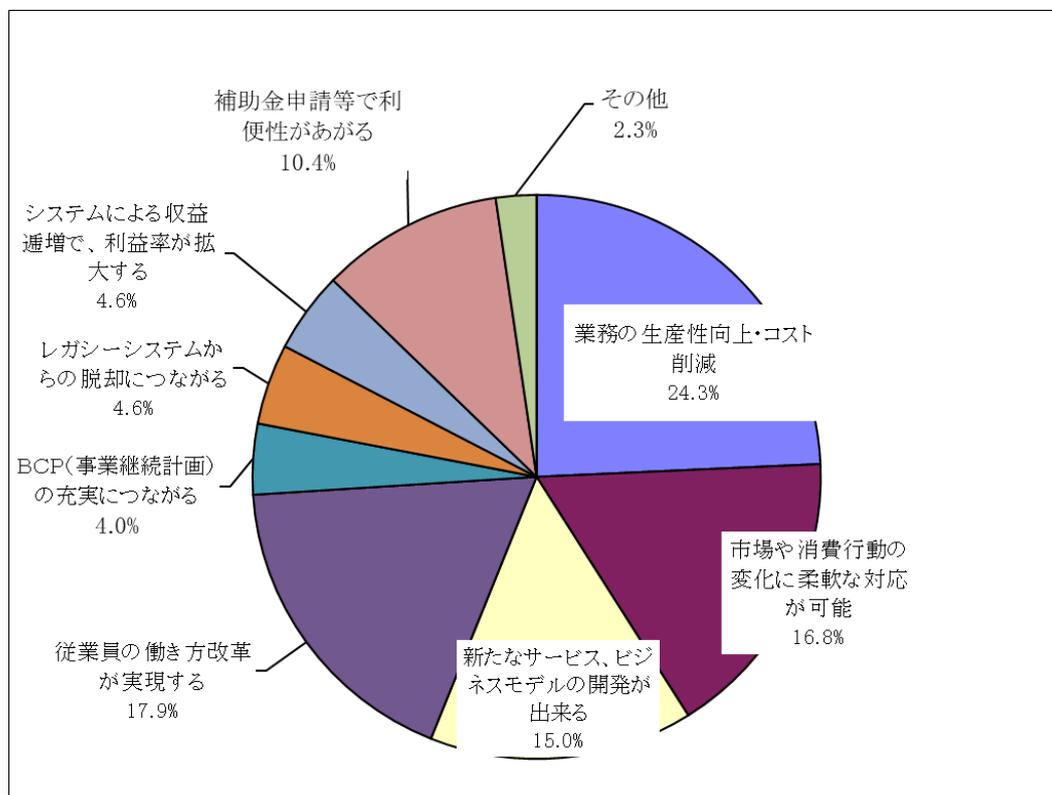
1 2. セミナーで取り上げて欲しいテーマや内容について

「初歩から学ぶDX講座」が4割を超えており、そもそもDXとはどんなものかといった事からセミナーを行っていく必要があることが窺えます。



1 3. DXを取り入れることで。貴社にとって利点となると思われること

「業務の生産性向上・コスト削減」「消費行動の変化に柔軟に対応」「従業員の働き方改革」「新しいサービスの開発」などがDXを取り入れることで、自社の利点していくと考えています。



1 4. 自由意見

- 【飲食業】 飲食業務の為夜の勉強会にはどうしてもでられません。午前中なども検討していただくと有難いです。
- 【小売業】 DXがまったくわからないので、アンケートに答えようがない。申し訳ないです。
- 【電気工事業】 会社全体で取り組む課題と考えています。事業所単独ではできないため本社主導になります。
- 【建設業】 DXがわからないので何もわからない。
- 【宿泊業】 DXを進める上での課題について、導入費用も高いが、システム利用料やOS変更に伴う経費が大きく負担。
- 【飲食業】 興味が無い。わからない。
- 【建設業】 利点があるかわからない。小さい会社で全ての業種に簡単に組み入れる例を示して頂けたら入口も広がると思うので、もしそういった具体例があるならお願い致します。
- 【建設業】 必要かどうかわからない。自社の規模で…。
- 【製造業】 利点がわからない。
- 【小売業】 私もそうですが、IT化とDX化の違いを明確に知りたい。DX化のためのIT化の意味を具体的に。DX化のためのIT化の意味を具体的にしてほしい。

クロス集計

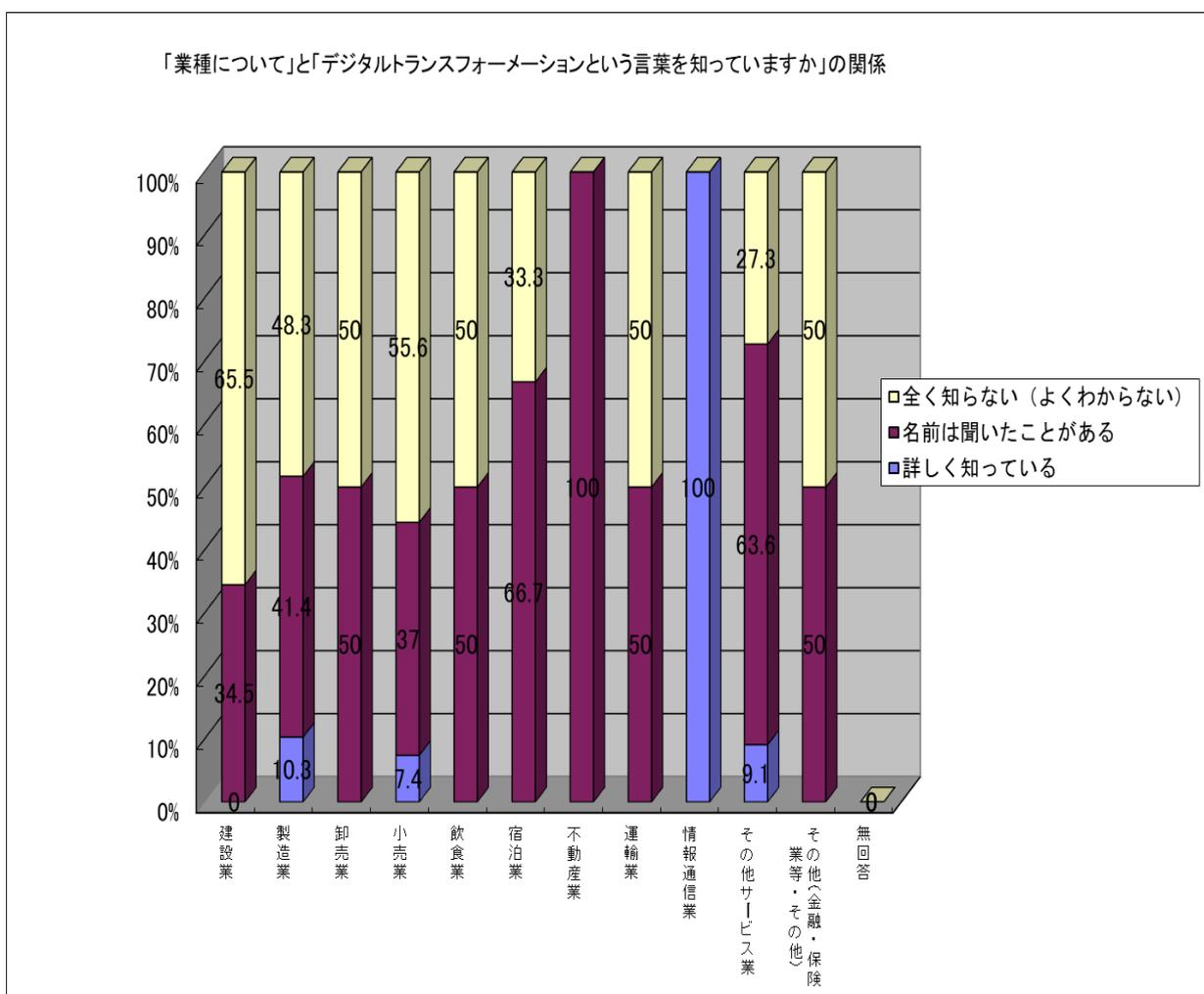
【業種×●●】

1) デジタルトランスフォーメーション（DX）という言葉を知っていますか

DXについて知っているかどうかを業種別に見ると、情報通信業は100%の事業所が知っているという回答をしています。

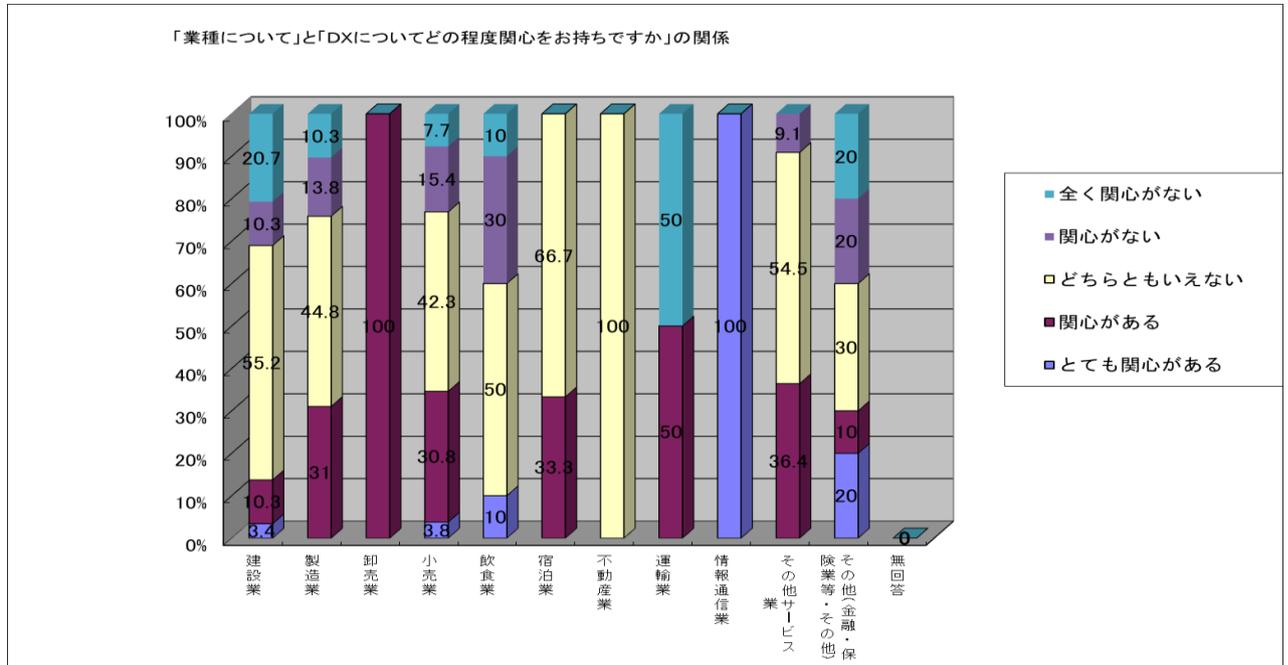
その他の業種では、製造業、小売業、サービス業などは「知っている」と回答した事業所も若干あります。

ただ殆どの業種で、半数近くが「全く知らない(よくわからない)」と回答しています。



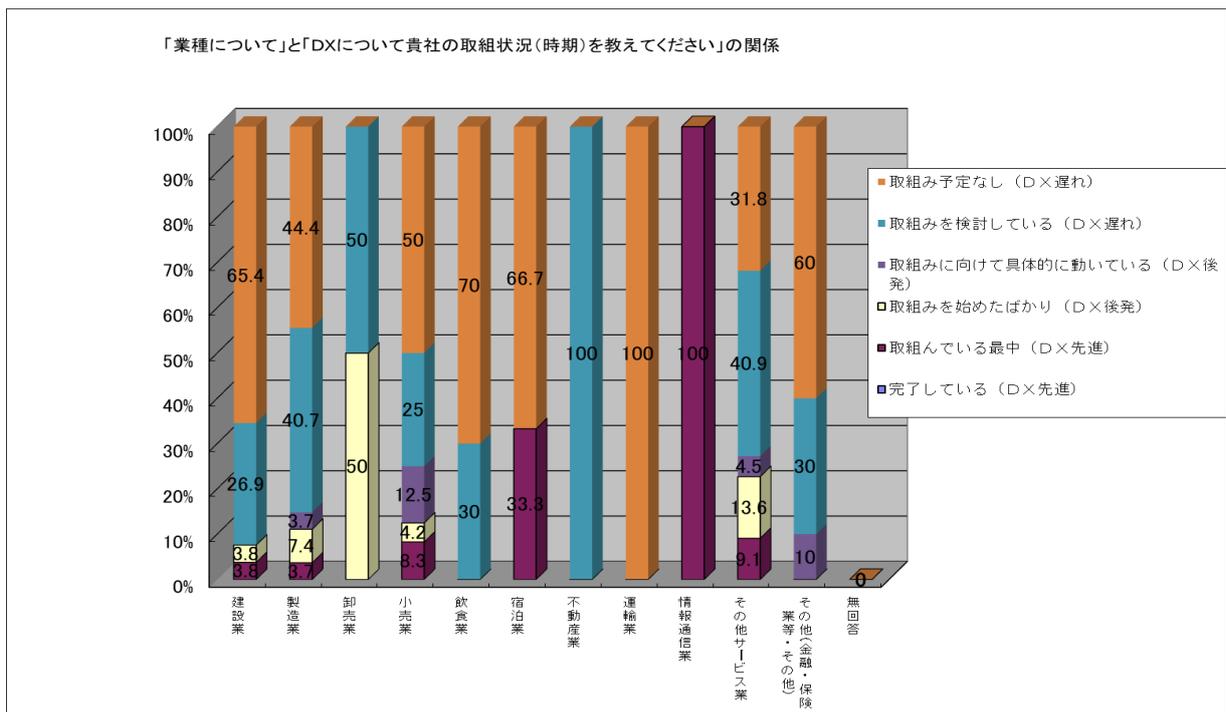
2) DXについてどの程度関心をお持ちですか

業種別にみた関心度については、「建設業」「製造業」「小売業」「飲食業」「宿泊業」「サービス業」は関心があると回答。これれの業種はDXに取組みやすい業種、ということに関心はあるがどう取組んでいいか判らないといったことが窺えます。



3) DXについて貴社の取組状況を(時期)を教えてください

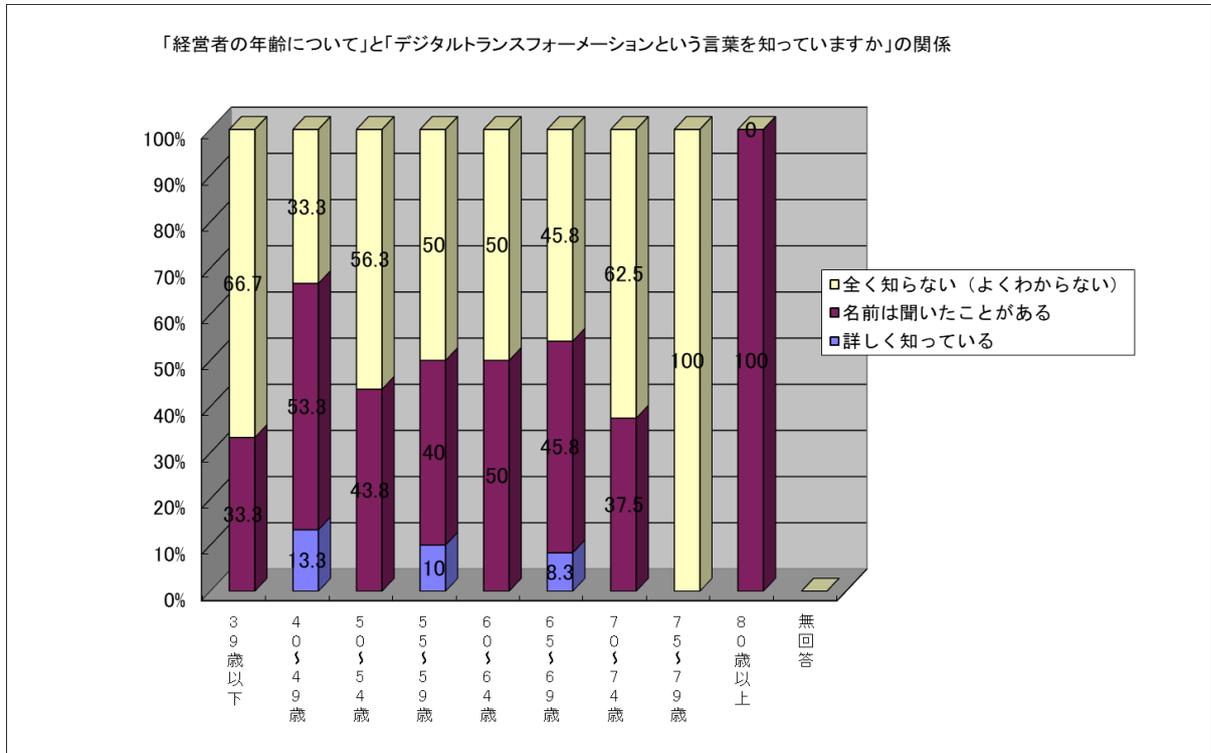
取組み時期について全体的には、予定なしと取組む気持ちがあるという回答が半々でしたが、業種別では、「建設」「製造」「小売」「飲食」「宿泊」「不動産」「サービス」などは前向きに取組んでいる状況が窺えます。



【年齢×●●】

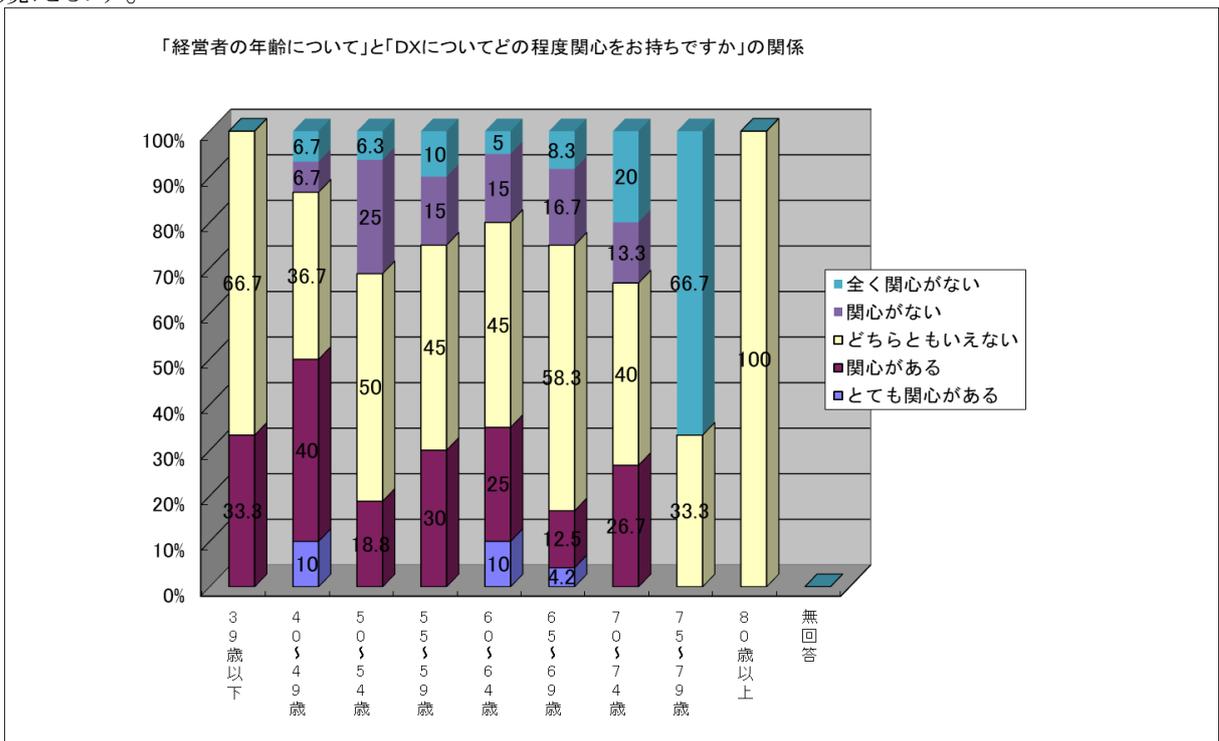
1) デジタルトランスフォーメーション (DX) という言葉を知っていますか

年齢別にDXへの認知度としては、高齢になるにつれて「知らない」という回答が多くなっています。



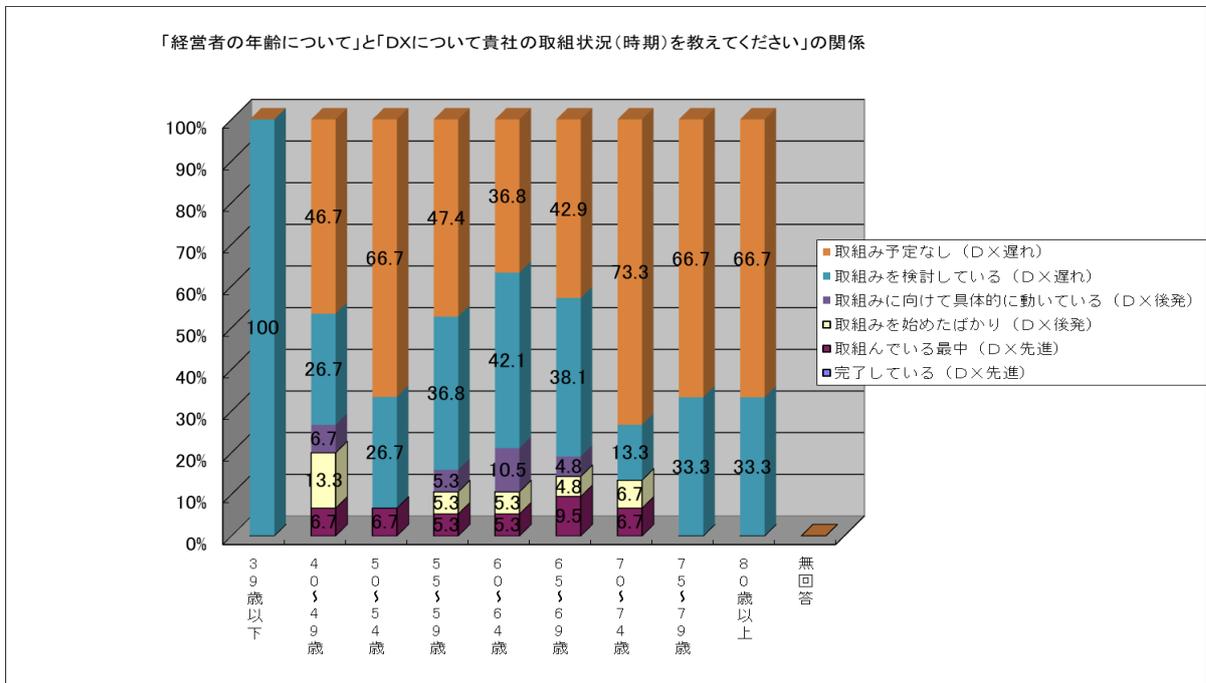
2) DXについてどの程度関心をお持ちですか

DXへの関心度についても40歳以下の経営者は「関心がある」が多く回答していますが、全年代的にみても「どちらともいえない」の割合が多く、DXへの関心度の低さが窺えます。



3) DXについて貴社の取組状況を(時期)を教えてください

取組時期については、39歳以下の経営者は殆どが取組もうとしています、40歳以上では予定がないと回答した経営者が4割から7割あり、取組についてはまだまだ遅れている現状が窺えます。



4) DX化で経営改善を行いたいと考えていますか

49歳までの経営者はDXで経営改善を考えていると回答した割合が多いが、50歳以上になると「わからない」とか「考えていない」と回答する経営者が多くなり、これは高齢になるほど、DXをどう活用していいのかがわからないことが要因かと思われます。

